



岡本 ひとし

一、町長の所信表明について伺う 二、人権文化センターの今後と人権行政について伺う

町長の所信表明について「まちづくり」の基本理念について伺う

活動に加えて、テーマ型・ボランティア組織のコミュニティの活動を活発にすることが重要である。

問 教育環境整備をどのように進めようとするのか伺う。

答 今の教育環境がベストであると思っていない。今後の学校教育、学校運営に与える影響は十分検証する必要がある。再編することの必要性から緩やかな再編を掲げて精査を行う。

問 住民参加型の町政の確立は、区長を中心とした自治区の取り組みについて認識を伺う。

答 住民自治の中核を担ってきた各区の献身的な取り組みが現在も行われており、本町にとって大きな強みであり、財産であると確信しているが、後継者不足やメンバーの固定化等によって活動が脆弱化していく懸念材料もある。従来の地縁型の

人権文化センターの今後と人権行政について伺う

問 人権文化センターの果たしてきた成果について伺う。

答 地域における課題の解決や、自立促進、施設利用など、成果があったと認識している。

問 人権行政を推進するために必要不可欠だと思われるが、人権課題の解決に向けた認識を伺う。

答 課題の解決に向け、能勢町人権協会とも連携を強化しながら、引き続き取り組んでまいりたい。

(意見) 次世代層の定住には生活排水整備は必要不可欠であって、「まちづくり」の根幹に係わる問題であり、早期に整備されたい。



一般質問



八木 修

選挙で示した公約と所信表明について

問 町長のまちづくりの理念は、住民自治。住民参加型でやっていく、と。そうです。

問 能勢町には今年度から今後10年間のまちづくりの指針を定めた第5次総合計画がある。問題だらけの学校再編以外は、選挙戦で示した公約等はほとんどこの総合計画の中に網羅されていると思うが。

答 そう思います。

問 そうすると町長選挙の最大の争点は、学校再編問題になるが。

答 正確に言い切ることにはできないが、人口減少をストップさせるということの評価と、学校再編を決定して行く過程の曖昧さとか強引に進められたと受けとめた方々の思いが結果として票に出たのではないか。

問 新しい学校には理念

がないということだが。

答 理念は必要で、私の経験でも能勢高校の連携型中高一貫教育の理念を作った。新学校にはあったのかどうかということも、実はそういう資料がないということ、まだ見ていない。

問 どうするのか。

答 理念を考えるような組織を立ち上げ、原案を作成し教育委員の方々と討議し固めていく。

問 新しい学校の理念ができるまでの間に、問題だらけの学校再編を精査するということだが、なにを精査(詳しく調べる)するのか。

答 1. 耐震補強に要する期間と、防災機能にも着目すべきだったこと。1. 地域住民の意見に耳を傾けるべきところが不足していたこと。1. 統廃合を時期尚早としながら1年後に別の委

員会を立ち上げたこと。普通は5年ほどは期間を置くのに早急な対応をしたこと。

問 町長が精査して確認するだけでは不十分だ。その情報や問題点を住民にどう発信するかが大切だと思うが。

答 住民から正しい情報が欲しいと言われているので、訂正するところは訂正して情報を発信する。

問 学校再編はまちづくりと関連するので、住民参加型のまちづくりを理念に置くなら、手順を踏んでやらなければならないが。

答 特に学校再編と関わるまちづくりは、全校区でできるか分からないがタウンミーティングという形でやっていきたい。